



# WEEKLY REPORT

2008-2009 No.32 2009年3月5日

会長◆鈴木安之 会長エレクト◆臼井 浩 副会長◆矢部房男 村田典昭  
幹事◆三宅 謙 SAA◆桐田吉彦 会計◆市川 浩 ◇広報委員長:石田 隆  
E-mail:zushirc@sage.ocn.ne.jp Website:http://www.zushi-rc.com/

例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~

例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL:046-870-6651

事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX:046-873-0226

## 本日の進行(12:30)

大城 朝康氏

「100年に一度の狂乱相場の反省」

## 一次回のお知らせ

3月12日(木)(18:30)

もりや くぬぎ氏

「音楽活動について」

## 《 第 2290 回 例会記録 2009年2月26日 》

出席報告	会員数 43 名(出席免除 6 名)	出席数 23 名	出席率 51.35%	前回修正出席率 62.16%
ゲスト	渡邊 貞雄会員			
ピジター	大友照雄君 (葉山)			

### ■ 会長 談 話

**村田副会長** 会長不在で申し訳ございません。会長は別の所で行われている会の幹事役を終えましたら必ず参りますが、時間ですので例会を始めさせていただきます。



**鈴木会長** 世の中には変わり目というものがあります。自分がドラステックに変えていかないと埒が明かない。ピンチはチャンス、チャンスはピンチの中にあります。今の不況、政界をみると世の中変えていかねばならないとつくづく思います。



### ■ 報 告

**三宅幹事報告** \*3/28 第2グループのIM開催、ホストは葉山 RC。是非予定を開けて下さい。逗子駅からロフォス湘南まで往復計4便のシャトルバスを運行します。逗子 RC の会員はこのお手伝いをしますので、ご協力下さい。パンフレットをお持ち下さい。

\*地区協議会 4月26日(日)12:00 登録~鎌倉芸術館/鎌倉女子大学にて開催、ホストは鎌倉 RC。各部門に出席する方と、当日の運営のお手伝い(R 財団、米山部会。募集します)の方はよろしくお願ひします。 \*第4回アワード ミーティング 案内 3/29 9:00~南足柄市岡本中学校



#### I.M.開催

3月28日(土)  
ロフォス湘南にて。  
多数の参加を。  
当日のお手  
伝いをよろしく  
願ひします。

葉山 RC 大友照雄 IM 実行委員  
テーマ: アイアム ア ロータリアン



#### R 財団表彰

篤 進会員 マチノブルフェー  
石田 隆会員 ホールハリフェー



ワークショップ リブル開設 10 周年「感謝のつどい」  
(2/28)にて逗子 RC に感謝状が贈呈された



←220年前の和時計

人類が最初に利用した時を計る物差しは「日時計」で、紀元前 3000 年頃からつかわれた（カイロ博物館所有）自然時計としては水、砂、ローソク、油など。

機械時計は 13 世紀イタリアかドイツで開発された。

日本の時計の始まりは西暦 660 年天智天皇が水時計を創り時刻を人々に知らせた。日本に初めて渡来したのは 1551 年。フランシスコ ザビエルが大名大内吉隆に贈与した。「和時計」とは「日本時計」「昔時計」と呼ばれて西暦 1600 年中世戦国時代から明治 3 年 12 月 3 日ま

で使用された日本独特の機械式時計の「不定時制時計」で世界で初めて日本人により作られた。19 世紀後半、欧米の開国干渉により国際化の時代に入り世界とは異なる時間制度では国交に不都合を生じ、明治 5 年 12 月 3 日（1873 年）その次の日を明治 6 年 1 月 1 日として明治政府は太陽暦を採用布告した。

クォーツ時計により人類は狂わない信頼できる時間の物差しを手に入れて現在は電波時計に進化、ソーラ電波は時間調整、電池交換の必要を省き数年で全てのクォーツが電波時計に切り替わる。このようにして人類は終始信頼できる時間物差しを手に入れることが出来た。



## ■ ニコニコ BOX (27,000円)

大友照雄君…本日お世話になります。

渡邊君…時計の機械屋 54 年です。

鈴木(安)君、三宅君、矢島君…渡邊会員、時計作り御指導よろしく。

臼井君…渡邊さん、久し振りの時計講座ですね。

市川君…ナベさん、時計作りよろしく。

橘(武)君…前回制作の時計も、正確な時を刻んでおります。本日を楽しみにしておりました。

坂井君…渡邊さん、スピーチをよろしく。

篤君…出席が少なくなくて御免なさい。

高橋君…お久しぶりです。ご無沙汰してすみません。

横山君…高橋会員にお世話になりました。

山本(由)君…不景気で仕事が減って大変です。

村田君…円安 98 円！！

毛利君…寒いですね、でもこれが本当かも。

葉山君…早く暖かくなって！！

山口君…今日も元気で働いています。

菊池君…もうすぐ ひな祭り。

ニコニコ BOX 本日合計 ￥ 27,000

累計 ￥ 1,294,000+

ご協力ありがとうございました。

## コラム

### ロータリーの交換留学生



交換学生事業は卵を産む。金の卵とまでは言わないが、夢を生み育ててくれる。預かっている期間中、またはその後、両親が訪ねてくることもあり、大人の交歓が始まる。学生が帰国して数年後、大学生になり社会人になってから再訪してあげることがある。その後の歩みと共に成長した姿も目の辺りに見せてくれ、何とも嬉しいものだ。これを「里帰り」と呼んでいた。フィアンセを連れてくる、ベターハーフのみならず子連れで一家挙げて里帰りをしてくれる者もある。必ず学生時代の話題にさかのぼり、賑やかな集まりとなる。

一度ならず数度訪ねてくれることもある。昔にかえって「お父さん」「お母さん」と呼んでくれるのも、かつての養父母にとって嬉しいことだ。学んだ高校を訪ねる、何人かは昔の先生も居られる、此処でもニコニコ。夏休みを利用して高校相互の交換も行われ、ホームステイで異国の家庭を垣間見る。会員が訪問し合う。私の参加したツアーでは、会員、夫人で 17 名のグループとなり、夫婦単位で、先方の会員宅に泊めて頂いた。先方からの会員家族を迎えては、会員宅に宿泊して、日本の家庭を体験してもらった。当時の地区委員長は、すっかり気に入って半年程アパート住まいをし、会員提供の車で草の根的に国際交流を実践した。帰国後はガバナーになり、市に働きかけて姉妹都市にまで漕ぎつけてしまうという偉業を成し遂げた。

クラブ会報編集委員 篤 進